

祝迫 得夫 IWAIKAKO Tokuo 火曜 5時限

I. 主な担当科目

計量ファイナンス特論 D、上級マクロ経済学、中級マクロ経済学

II. 研究分野

ファイナンス、実証マクロ

III. 研究分野（英語表記）

Financial Economics, Empirical Macro

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

M1 も参加は自由ですが、コースワークに専念してもらうため単位としての履修は M2 のみとします。M2 でのゼミ参加を希望する M1 の学生には、できれば秋冬学期に開講される「計量ファイナンス特論 D」（ただし夜の時間帯に千代田キャンパスでの開講、経営管理研究科の授業名は「資産価格の実証分析」）を 1 年生の間に履修しておくことを勧めます。

V. ゼミ選考期間

主ゼミでの受け入れについて：2021 年 3 月始めから 4 月第 2 週の間メールで研究計画書を送付し、面接のアポイントメントを取って下さい。ただし 4 月 5 日（月）をとりあえずの区切りとし、その時点までに複数の院生の受け入れを決めた場合は、それ以降は受け入れない可能性があります。

M1・博士およびサブゼミでの受け入れ：選考期間は同じですが、個別に対応しますので、希望者はまずメールで連絡を下さい。

VI. 指導方針

詳細は教員個人ホームページの当該ページを参照のこと。

標語：「来るもの拒まず、去るもの追わず」、「面白いかどうかは人に聞け」。

VII. 博士後期課程への進学要件（コア科目）

上級ミクロ・上級マクロ・上級計量の 3 つの科目を履修し、全てを B 以上で合格していること。一科目は中級科目でも構わないが、後期課程 1 年次のうちに上級科目を履修・合格することが望ましい。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

博士後期課程への進学要件にあげている科目に準ずる授業を、履修済みであること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他）

* 独力で実証研究を行う能力があり、なおかつ博士論文の少なくとも一章を実証分析で書く意思のあるもの。

*（一橋大学でなくても構わないが）大学院レベルのファイナンスの授業を既に受講し、十分な知識を身につけていること。

X. 共同開講者に関するメモ

XI. 詳細リンク先 URL

<https://sites.google.com/site/tokuoiwaisako/courses>